

令和3年度経営計画

1. 業務環境

1) 埼玉県の景気動向

県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け厳しい状況にあるものの、基調としては持ち直しの動きが続いています。

ただし、項目別にみると、生産については相対的に速いペースで持ち直している一方、飲食・旅行・イベントといった人の接触を伴う消費については非常に厳しい状況が続いているなど、持ち直しの動きは一様ではありません。

新型コロナウイルス感染症用ワクチンが開発されたことから、令和3年度は経済活動が徐々に正常化していくものと思われませんが、万一、次の感染拡大が起きれば景気が再度下振れすることも考えられるため、先行きについては予断を許さない状況にあると認識しています。

2) 中小企業・小規模事業者を取り巻く環境

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、中小企業・小規模事業者は、感染症対策を徹底した店舗運営や、商取引の電子化への対応を求められるなど、ソフト・ハードの両面で従来とは異なる業務運営を余儀なくされています。

一方、予てより問題となっている経営者の高齢化は解消されておらず、事業承継の促進が依然として課題となっています。

3) 埼玉県信用保証協会の現状

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業・小規模事業者への資金繰り支援の実施により保証利用が増加し、保証債務残高が急増しました。

一方で、経済活動が正常化していないため、保証を利用した中小企業・小規模事業者の中には引き続き厳しい経営を余儀なくされている先が多く、ともすれば、急増した保証債務残高の中から多額の代位弁済が発生する恐れがあるものと認識しています。

そこで今後は、中小企業・小規模事業者の経営力向上に資する取組みに重点を置き、代位弁済を抑制することが、当協会にとっても中小企業・小規模事業者にとっても有益だと考えています。

一方で、経営力向上に資する取組みには少なからぬ人的リソースが必要となるため、例えば、効率性を考慮した合理的な債権管理回収業務を行うなどして、リソースの確保を図る必要があると考えます。

2. 業務運営方針

令和3年度経営計画は、第6次中期事業計画（令和3年度からの3か年度）と同様に、「新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者の支援」と「コロナ禍の振り返りを踏まえた組織体制の強化」を念頭に置き、関係機関との連携を深めながら、地域社会の活性化に寄与することを業務運営方針とします。

そのためにも、以下に記す①～④を目標に掲げ、役職員一丸となって業務に邁進します。

①中小企業・小規模事業者の実情を踏まえた支援を実践し、事業継続に貢献します

新型コロナウイルス感染症による経済環境の変化に立ち向かう中小企業・小規模事業者に対する金融支援・経営支援や、事業承継問題に取り組むことで、県内中小企業・小規模事業者の事業継続を後押しします。

②関係機関との連携を強化し、地域での存在感を高めます

金融機関・中小企業支援機関との間で互いの得意分野を持ち寄りながら、県内中小企業・小規模事業者に対する実効性の高い金融支援・経営支援を展開します。

併せて、関係機関と連携しながら、地方創生に資する取組みを推し進めます。

③経済環境の変化に即応できる組織体制を確立します

経済環境の変化に合わせて当協会に求められる役割が変化しても、迅速に対応できる体制を構築します。

また、今回のコロナ禍の経験を踏まえ、危機時の事業継続体制について見直しを行い、不測の事態が起きても万全の態勢で業務に臨める体制を構築・維持します。

④公的機関に寄せられる社会的な期待に十分応えられる健全な組織運営を行います

法令やルールを厳守した公正かつ誠実な業務の遂行と、強固な財務基盤の維持を図ります。

この方針に沿って、各部門では以下に記す重点課題の解決に向けて業務に取り組みます。

●保証部門

- ・資金繰り支援
- ・経営力向上支援
- ・事業承継の促進

●期中管理・経営支援部門

- ・ 経営状況変化の早期察知と適切な経営支援の実施
- ・ きめ細かな延滞管理の実施
- ・ 創業者へのフォローアップ

●回収部門

- ・ 管理コストを考慮した効率的な求償権管理回収

●その他間接部門

- ・ 多様な業務を担える職員の育成
- ・ 生産性の向上
- ・ I Tインフラ整備
- ・ 当協会への理解を促す広報活動の展開
- ・ 金融機関との対話による相互理解の促進
- ・ 関係機関との連携に向けた取組み
- ・ 地域貢献への取組み
- ・ コンプライアンスの徹底
- ・ 反社会的勢力の排除および不正利用の防止
- ・ 長期的な財務基盤の維持

3. 事業計画

令和3年度の保証承諾等の主要業務数値は、以下のとおりです。

	金 額	対前年度計画比
保 証 承 諾	3, 3 3 0 億円	1 2 3 . 3 %
期 末 保 証 債 務 残 高	1 5, 6 2 4 億円	2 1 2 . 1 %
代 位 弁 済 (元 利)	2 9 0 億円	2 2 3 . 1 %
実 際 回 収 (元 損)	3 0 億円	9 6 . 8 %